

# 株主通信

第158期 [2020年4月1日～2021年3月31日]

## CONTENTS

- |                    |           |
|--------------------|-----------|
| 01 株主の皆様へ          | 09 TOPICS |
| 04 業績ハイライト         | 11 連結財務諸表 |
| 05 特集1 感染症対策プロジェクト | 12 役員紹介   |
| 07 特集2 ヘルスケア       | 13 株式情報   |
| 08 特集3 環境経営        | 14 会社概要   |

『世界のパートナーと  
社会課題の解決に  
取り組む企業』を目指して



## 株主の皆様へ

『世界のパートナーと社会課題の解決に取り組む企業』として、ヘルスケア対策や脱炭素社会の実現に向けた取り組みで「社会課題解決のための仕組み作りと社会実装」を進め、持続的な成長を目指します。

2021年6月  
代表取締役 社長 **上田輝久**



### 社 是

科学技術で  
社会に貢献する

### 経営理念

「人と地球の健康」への  
願いを実現する

### 第158期 連結業績ハイライト

売上高  
**3,935**億円  
前年度比 +2.1%

営業利益  
**497**億円  
前年度比 +18.9%

経常利益  
**484**億円  
前年度比 +13.4%

親会社株主に帰属する当期純利益  
**361**億円  
前年度比 +13.6%

### 第158期 連結業績のポイント

#### 増収増益 売上・利益ともに 過去最高を更新

●計測は増収増益で売上・営業利益ともに過去最高、医用は減収増益で営業利益が過去最高、航空は減収減益でコロナ禍の影響大、産業は増収増益で売上が過去最高

#### 感染症対策プロジェクトの 推進

●感染拡大防止のための製品開発や共同研究を行い(5・6頁ご参照)、新型コロナウイルス検出試薬キット、全自動PCR検査装置、肺炎検査の回診用装置が業績に大きく貢献

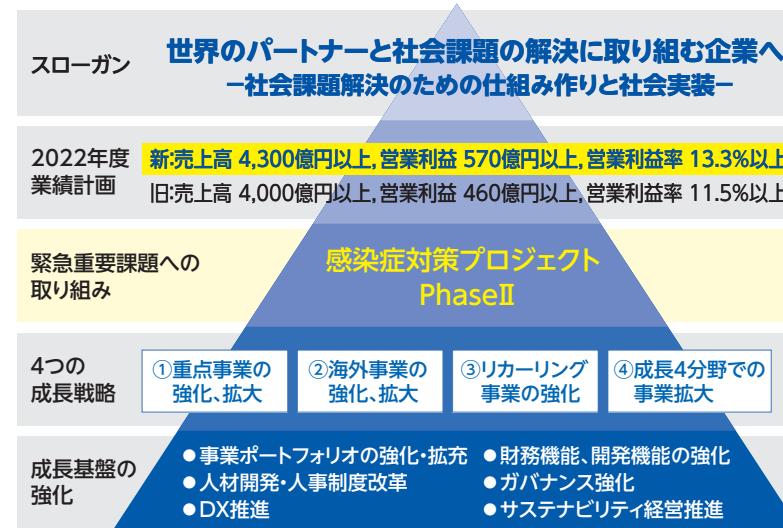
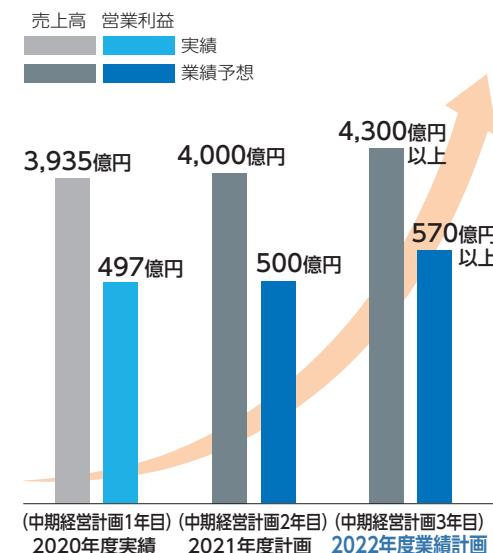
#### 海外で増収 日本は下期増収

●海外は中国、欧州、その他アジアで増収、中国の売上はコロナ前の2018年度まで回復  
●日本は前年比2%の減収となったが、下期は補正予算やコロナウイルス関連により6%の増収

#### 計測の重点機種・産業の ターボ分子ポンプ・医用の 回診用装置の売上過去最高

●計測重点機種(液体クロマトグラフ・質量分析システム・ガスクロマトグラフ)は3機種ともに増収増益  
●産業のターボ分子ポンプは5G(第5世代通信網)やデータセンター向けで半導体需要増

### 中期経営計画 2020年4月～2023年3月



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第158期の業績および中期経営計画の見直しの内容をご報告いたします。

### 当連結会計年度の業績

当連結会計年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、世界全体で依然として厳しく推移しました。

このような状況のもと、当社は緊急重要課題として「感染症対策プロジェクト」を立ち上げ、最優先で取り

組んだことで、新型コロナウイルス検出試薬キットや全自動PCR検査装置、肺炎の診断用途で用いられる回診用X線撮影装置が業績に貢献しました。加えて、ヘルスケア向けやウイルスの研究用に液体クロマトグラフ、質量分析システムの売上が増加しました。

また、5G(第5世代通信網)やデータセンター向け半導体需要の拡大に伴い、半導体製造装置市場が拡大したことで、ターボ分子ポンプの需要が増加しました。当社は、生産能力の拡大を行うなど、需要を取り込んだことから、売上は大幅に増加しました。

以上の結果、当連結会計年度の業績につきましては、

## 株主の皆様へ

売上高は3,934億9千9百万円(前年度比2.1%増)となり、営業利益は売上の増加に加え、経費抑制と投資の見極めなどにより、497億4千2百万円(同18.9%増)、経常利益は483億7千8百万円(同13.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は360億9千7百万円(同13.6%増)となり、過去最高の業績を達成することができました。

### 中期経営計画のアップデート

中期経営計画がスタートした2020年度の業績計画は、当初、新型コロナウイルス感染拡大の影響が見通せず、ワーストケースとして設定しました。しかし、計測、医用、産業セグメントが計画値よりも大きく上振れ、また「感染症対策プロジェクト」による部門間の壁を越えた迅速な製品開発や他部門の販売網を活用した売上貢献などにより、2020年度は増収増益となりました。この結果や事業環境の変化を受け、2021年5月、中期経営計画の見直しを行いました。

緊急重要課題である「感染症対策プロジェクト」については、PhaseⅡとして、従来の取り組みに加え、新たな検査法の開発や、検査データのネットワーク管理システムの構築、下水中のウイルスのモニタリングなど、「感染症対策の仕組み作り」を積極的に進めてまいります。

また、当初から取り組んでいる4つの成長戦略(①重点事業の強化、拡大②海外事業の強化、拡大③リカーリング事業の強化④成長4分野での事業拡大)を継続し、特にヘルスケア、環境・エネルギーを中心とした成長分野への事業拡大に取り組むとともに、コロナ禍においても成長する分野に注力していきます。

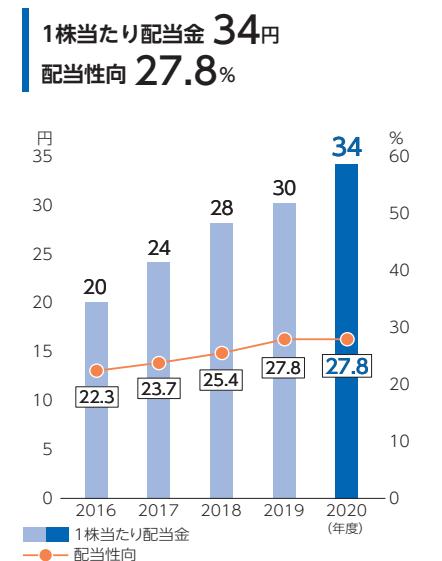
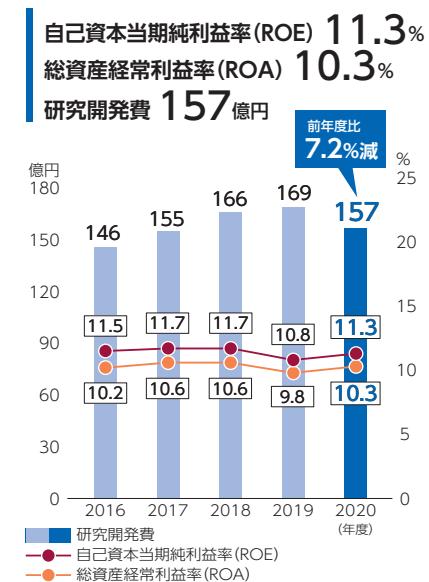
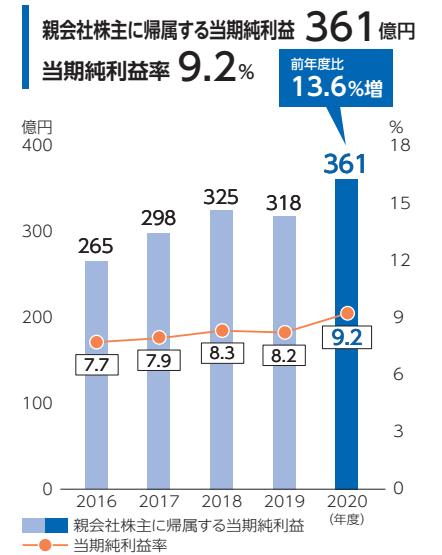
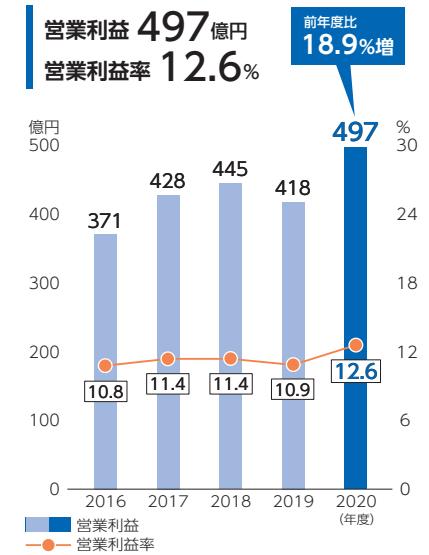
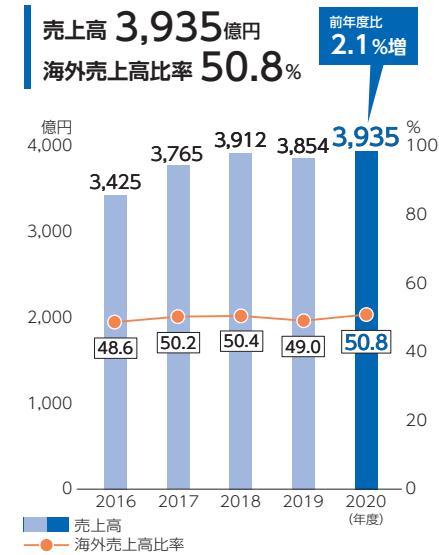
成長基盤の強化については、デジタルトランスフォーメーション(DX)推進とサステナビリティ経営推進を追加しました。DX推進については、デジタル技術と各種データを活用して持続的な成長を目指し、ビジネスモデルの変革に取り組みます。また、サステナビリティ経営推進に向けては、カーボンニュートラルの実現を目指し、今年3月にRE100に加盟しました(8頁ご参照)。

これらを踏まえ、最終年度の2022年度の業績計画は、売上高4,300億円以上(前回発表時300億円増)、営業利益570億円以上(同110億円増)に上方修正しました。

今後も、世界のパートナーと社会課題の解決に取り組む、さらなる事業成長を目指します。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援・ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

## 業績ハイライト (2021年3月31日現在)



# 新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて

新型コロナウイルスの感染拡大は、依然として社会経済活動に深刻な影響を与えています。当社は、『社会課題の解決に取り組む企業』として、「感染症対策プロジェクト」を中期経営計画(2020-2022年度)の緊急重要課題として位置づけ、世界的な感染の収束に向けて、先端的な技術や製品の開発に取り組んでいます。

## 新規検査法 被験者の負担を軽減する呼気を用いた検査法を開発

国立大学法人東北大学との共同研究により、呼気を試料とした新型コロナウイルス検査法の開発に成功しました。今後、臨床研究を進め、早期の実用化を目指します。本検査法では、被験者の吐く息で試料採取が可能のため、従来の鼻や口(咽頭)から試料を採取する方法に比べて、被験者の負担を軽減し、医療関係者の感染リスクも低減できます。加えて、質量分析等で得られた多面的なデータを解析することで、「重症化のリスク」「治療効果」「ウイルス変異」「合併症」などの診断・予測に応用することもできます。また、複数ウイルスの同時測定が可能であり、新型コロナウイルス感染症の収束後も他の感染症対策に役立ちます。

将来的には、呼気から様々な情報を得ることで、他の病気の診断や未病予防への応用も目指していきます。



今回研究で使用している質量分析計  
[大野英男・東北大学総長(右)と上田輝久・当社社長(左)]

## 新製品 PCR検査を全自動で行う遺伝子解析装置「AutoAmp」を発売

昨年11月に発売した本製品は、鼻咽頭拭い液や唾液の入った検体容器などをセットするだけで迅速・簡便な検査、安定したデータの取得を実現します。病原体を即時にモニタリングする全自動PCR検査装置としては小型で低価格のため、クリニックや中小規模病院をはじめ、発熱外来指定病院等の医療機関、地方衛生研究所、検査会社で広くご採用頂いています。

当社は、本装置をはじめとする製品や試薬ラインナップを充実させることで、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図る検査体制の拡充に貢献してまいります。



「遺伝子解析装置 AutoAmp」

COVID-19に対する当社の取り組みは、こちらからご覧頂けます。



## 変異株の検出 変異株を検出する試薬キットと物質に付着した微量なウイルスを検出する試薬キットを発売

本年2月、ドアノブや蛇口などに付着した新型コロナウイルスを高感度に検出する拭取りタイプの検査試薬キットを、世界で初めて発売しました。本キットは、拭取ったウイルスを濃縮し、煩雑なRNA精製が不要な当社独自のAmpdirect技術により、通常は数時間以上かかる検出を約100分で行います。介護老人保健施設や児童福祉施設、食品関連施設向けなどの検査サービスを行う受託検査会社および医療機関に販売していきます。

また、本年5月には、新型コロナウイルス変異株をPCR検査で検出する「SARS-CoV-2変異株検出コア試薬キット」および「N501Y

プライマー/プローブセット」(いずれも研究用試薬)を発売しました。感染力が強いN501Y変異株だけでなく、今後はワクチンの効力を低下させる新たな変異株の出現に向け、検出用試薬の開発を継続します。



## 重症化予測 「尿・血液での新型コロナウイルス重症化予測技術」を共同研究

国立大学法人熊本大学および株式会社アイスティサイエンス(和歌山市)との共同研究「修飾核酸測定を応用した新規COVID-19 診断法開発」の成果をもとに、「LC/MS/MSメソッドパッケージ修飾ヌクレオシド」を開発し、今夏の実用化を目指しています。メソッドパッケージとは当社製の液体クロマトグラフ質量分析計(LC-MS)を用いて、分析する際に必要な情報を集約し

た製品です。LC-MS、アイスティサイエンス製の自動検体前処理装置で構成する「修飾核酸分析システム」は、新型コロナウイルス感染症の重症化との関連が示唆される成分を、尿や血液から6分以内で測定可能です。今後、PCR等の診断による陽性判定後にこの技術を用いて重症化予測を行うことで、療養場所や治療薬の選択などに応用していくことが期待されます。



左から佐々野僚一(株)アイスティサイエンス 代表取締役、永芳友・熊本大学特任助教、富澤一仁・熊本大学教授、向紀雄・当社分析計測事業部ライフサイエンス事業統括部長





# アルツハイマー型認知症をはじめとする病気の兆候の早期発見に向けて

超高齢化社会において、当社の強みが発揮される分野である「分析計測技術」と、PET画像診断を支援する「医用技術」を連携させ、アルツハイマー型認知症をはじめとする病気の兆候の早期発見を支援し、予防法の確立、創薬などの研究に貢献しています。

## || 頭部・乳房に特化した世界初のTOF-PET装置「BresTome」を発売

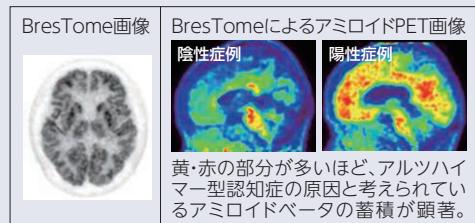
本年3月に発売した本製品は、検出器の配置をボタン操作で変更することにより、頭部・乳房両方の検査に対応できる世界初のTOF-PET装置です。

最新の当社製半導体検出器とTOF技術により、高精細なPET画像を提供します。また、検出器ホールは直径30cmと小型で撮像部位に近接でき、普及している全身用PET装置(直径80cm前後)に比べ、解像度が2倍に向上しました。乳房検査では、乳房を圧迫しないため痛みを伴わず撮像できます。

脳腫瘍、てんかん、乳がんの臨床診療はもちろん、アルツハイマー型認知症などの認知症をはじめとする脳研究にも貢献し、PET検査における新たな可能性を広げます。



TOF-PET装置「BresTome」の頭部撮影モード



データ提供:近畿大学高度先端総合医療センターPET分子イメージング部様

## || 被験者の負担を軽減する「アミロイドMS CL」が医療機器承認を取得

昨年12月、「血中アミロイドペプチド測定システムAmyloid MS CL」(以下、「アミロイドMS CL」)について、管理医療機器(クラスII)としての承認を取得しました。

本製品は、国立長寿医療研究センターとの共同研究で開発した「アルツハイマー病変検出法」で使用される質量分析技術の一部を「アミロイドMS CL」として製品化したもので、当社製の質量分析計「AXIMA Performance CL」とデータ解析用ソフトウェアなどで構成されています。

本製品は、血中のアミロイドペプチド(アルツハイマー病の特徴であるアミロイド斑の主要成分)を測定し、アルツハイマー病の原因とみられるアミロイドベータに関するバイオマーカー値を出力します。従来からあるPETや脳脊髄液検査に比べ、被験者の負担を軽減し、新たな検査法として期待を集めています。

アミロイドの蓄積が推定できる「アルツハイマー病変検出法」

〈血液採取〉

血液0.6ml  
(小さじ約10分の1)

〈質量分析〉

アミロイドベータの蓄積を検出する「アミロイドMS CL」

# カーボンニュートラルの実現に向けて —世界の分析計測機器業界で初めて「RE100」を宣言—

世界で脱炭素社会の実現を目指す動きが加速しています。昨年10月、日本政府は、社会の重要課題のひとつである気候変動への対応として、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量を実質ゼロにする「2050年カーボンニュートラル宣言」を行いました。当社は、社会の一員として事業活動におけるCO<sub>2</sub>排出量削減に努めるとともに、事業を通じた社会貢献に向け、カーボンニュートラルの実現に貢献する製品を提供してまいります。

## || 「RE100」を宣言

—2050年までに事業活動で使用する電力の再生可能エネルギー100%を目指す—

本年3月、持続可能な社会の実現に貢献するため、国際的な環境イニシアティブである「RE100」に加盟し、2050年までに当社グループが事業活動で使用する電力を再生可能エネルギー100%とすることを宣言しました。中間目標として、2030年度に85%、2040年度に90%とすることを掲げ、電力の再生可能エネルギー化を図ってまいります。

これまで、事業活動における気候変動関連の情報開示を要請するTCFD提言への賛同、パリ協定の温度目標に合った中長期CO<sub>2</sub>排出量削減目標の認定(SBT)を取得し、事業活動におけるCO<sub>2</sub>排出量を削減するため、様々な省エネルギー施策の実施や再生可能エネルギーの利用を促進する投資等を積極的に行ってきました。再生可能エネルギーについては、京都の本社・工場、マレーシアやフィリピンなどの製造子会社に太陽光発電パネルを設置し、発電した電力を自社で利用しています。



太陽光発電を活用するマレーシアの製造子会社

## || カーボンニュートラルの実現に貢献する様々な製品を提供

2010年より、従来製品と比べて、特に優れた環境性能を達成した製品を独自に「エコプロダクツPlus」として認定しており、お客様が使用される際のCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献しています。また、再生可能エネルギーの普及に向けて、水素燃料やバイオマス燃料の品質管理、高性能蓄電池の開発などを支援する様々な製品を提供し、環境貢献企業として、カーボンニュートラルの実現に幅広く貢献してまいります。

エコプロダクツPlus認定製品  
認定基準：当社従来機種比で下記いずれかの条件を満たします。



高速液体クロマトグラフ

- 1.省エネ**25%**以上
- 2.小型化**25%**以上  
(重量・容積・設置面積のいずれか一つ以上)
- 3.ガス・溶媒などの  
消耗品使用量**25%**削減



**分析/新製品** 在宅支援・リモートワークにも対応した高速液体クロマトグラフを発売

昨年11月、在宅支援・リモートワーク支援機能の強化と、耐圧性の向上により短時間での高分離を可能にした、一体型高速液体クロマトグラフ「Advanced i-Series」を発売しました。分析者がラボにいなくても、また、操作に不慣れな分析者でも、質の高いデータが得られる上、装置の起動から分析、データ解析までの工程を遠隔で操作できます。

「i-Series」は発売以来、世界中の製薬企業をはじめ、化学、食品、環境など幅広い分野で、品質管理や研究開発等の用途で活躍しています。標準モデルの「LC-2050/2060シリーズ」だけでなく、世界初の「スライドインカラム」を搭載した「LC-2030C NT」もユーザビリティの高さで好評価を得ており、今後もお客様のご要望に応え、ラインアップの充実を図ってまいります。



一体型高速液体クロマトグラフ「Advanced i-Series」  
(写真は「LC-2050C」)



「LC-2030C NT」に搭載されている「スライドインカラム」取付に工具を必要とするカラムでは、作業によって結果に差が生じることがありますが、スライドインカラムは工具なしに、わずか10秒で装着完了。初心者でも信頼性の高い結果が得られます。

**分析・医用/共同研究** 分析と医用の融合により、シンガポールで個別化医療の推進

本年1月、当社のアジア統括子会社Shimadzu (Asia Pacific)「SAP」は、シンガポールのチャンギ総合病院「CGH」と共同研究ラボを開設しました。本ラボは、当社の質量分析技術を用いて、より正確で迅速な検査結果を患者へ提供する臨床アプリケーションの開発を行います。

シンガポールでは成人の4人に1人が高血圧症とされています。高血圧の治療においては、患者のホルモンを正確に測定することにより、病気の原因究明や適切な薬剤の選定が可能になります。当社の質量分析計を利用することで、わずかな量の血液で高精度にホルモン測定が可能であり、治療可能な高血圧症である原発性アルドステロン症の早期発見に貢献します。

本ラボでは今後、研究成果を活かしてシンガポールの高血圧患者に高精度の検査を提供することで、個別化医療\*の実現を目指します。さらに、シンガポール以外の地域も含めて、高血圧および他の慢性疾患の医療技術の向上に繋がります。

\*個別化医療…個々の患者の体質や病気の特徴にあった最適な治療を行うこと。

チャンギ総合病院とShimadzu (Asia Pacific)との  
共同契約調印式



(前列)左から共同研究契約書にサインした谷垣哲也・「SAP」社長、  
Ng Wai Hoe・「CGH」CEO  
(後列)左からPrem Anand・「SAP」執行役員、Heng Swee Keat・  
シンガポール副首相、Siau Chin・「CGH」メディカルボード会長

**医用/新製品** 医師・診療放射線技師の労働環境を改善するX線一般撮影システムを発売

多くの疾患における最初の画像診断では、X線一般撮影システムが使用されます。医師や診療放射線技師は、検査の都度、天井レールから吊り下げられた約300kgのX線管懸垂器を動かして数ミリ単位でX線照射範囲の位置合わせを行い、操作者の肩・腰には大きな負担がかかります。

昨年11月に発売したX線一般撮影システム「RADspeed Pro style edition GLIDE Class」には、新開発のパワーアシスト技術「POWER GLIDE™」(オプション)を追加することで、操作に伴う身体的な負担を軽減します。

当社は今後も、画期的な技術開発と製品化により、医師・診療放射線技師の労働環境の改善や、多忙な医療現場の生産性向上に貢献していきます。



X線一般撮影システム  
「RADspeed Pro style edition  
GLIDE Class」



新開発のパワーアシスト技術  
「POWER GLIDE™」(オプション)

**分析/共同研究** クリーンなバイオ燃料の普及に貢献する分析システムを共同開発

「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」という社会的目標の達成に向けて、二酸化炭素排出量が少ないバイオ燃料の普及が求められています。その普及には、バイオ燃料に含まれる多数の成分を特定する技術開発が必要ですが、フランスのトタル社とポー大学、スペインのオビエド大学の3者は、ガスクロマトグラフで分離した化合物を元素レベルに分解し、質量分析計などで検出するという、画期的な技術で特許を取得しています。この方法は、従来、数時間かかっていたバイオ燃料の含酸素成分の特定を数十分に短縮し、安定した測定結果を得ることが可能です。

当社は、上記3者と共同研究に関する協定を締結し、バイオ燃料に含まれる酸素成分を特定する「含酸素成分分析システム」の開発に着手しました。2年以内にシステムを開発することを目標に、バイオ燃料の普及に向けた研究開発や生産改善に貢献します。



システム開発で使用しているガスクロマトグラフ質量分析計  
「GCMS-QP2020NX」

連結貸借対照表

(単位: 億円)

科目	当期末 (2021年3月31日)	前期末 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
1 流動資産	3,354	2,856
固定資産	1,620	1,520
有形固定資産	1,024	978
無形固定資産	116	114
投資その他の資産	480	428
1 資産合計	4,975	4,376
<b>負債の部</b>		
流動負債	1,441	1,155
固定負債	179	194
負債合計	1,620	1,348
<b>純資産の部</b>		
株主資本	3,233	3,054
その他の包括利益累計額	122	△26
純資産合計	3,355	3,028
負債純資産合計	4,975	4,376

POINT 1 総資産の増加

現金及び預金が419億円増加したことに加え、商品及び製品が122億円増加したことなどにより、総資産は598億円増加しました。

連結損益計算書

(単位: 億円)

科目	当期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)	前期 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
2 売上高	3,935	3,854
売上原価	2,373	2,330
売上総利益	1,562	1,524
販売費及び一般管理費	1,065	1,106
2 営業利益	497	418
営業外収益	24	32
営業外費用	38	24
2 経常利益	484	427
特別利益	19	6
特別損失	4	2
税金等調整前当期純利益	498	431
法人税、住民税及び事業税	134	104
法人税等調整額	3	10
当期純利益	361	318
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	—	△0
2 親会社株主に帰属する当期純利益	361	318

POINT 2 過去最高額を更新

売上高は前期に比べ2.1%増加し、2021年3月期で過去最高の3,935億円となり、営業利益497億円、経常利益484億円、親会社株主に帰属する当期純利益361億円と全て過去最高額を更新しました。

配当のご案内 2020年度期末配当金 1株当たり19円

配当金は、2021年6月28日(月)以降お受け取り頂けます。

配当金のお支払いに関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

☎ 0120-094-777 (通話料無料) 土・日・祝日等を除く9時~17時

詳しくは当社ウェブサイトより

「決算短信/決算説明会資料」をご覧ください。

<https://www.shimadzu.co.jp/ir/library/finance.html>



取締役

代表取締役  
会長  
中本 晃

取締役会議長



代表取締役  
社長  
上田 輝久

CEO



取締役  
上席専務執行役員  
三浦 泰夫

リスクマネジメント・  
営業担当/  
東京支社長



取締役  
上席専務執行役員  
北岡 光夫

CTO



取締役  
専務執行役員  
山本 靖則

CFO・経営戦略・  
コーポレート・  
コミュニケーション  
担当



社外取締役  
和田 浩子

Office WaDa 代表/  
コカ・コーラ ボトラーズ  
ジャパンホールディングス  
株式会社 社外取締役/  
ユニ・チャーム  
株式会社  
社外取締役  
(監査等委員)



社外取締役  
花井 陳雄

元 協和キリン株式会社  
取締役会長/  
株式会社ベルセウス  
プロテオミクス  
社外取締役



社外取締役  
中西 義之

DIC株式会社  
相談役/  
株式会社日本製鋼所  
社外取締役/  
株式会社HI  
社外取締役



監査役

常任監査役  
藤井 浩之

大日本塗料株式会社  
社外監査役

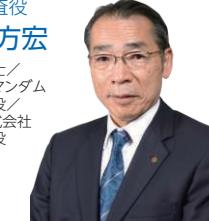


常勤監査役  
小谷崎 真



社外監査役  
西尾 方宏

公認会計士/  
株式会社マングラム  
社外監査役/  
サムコ株式会社  
社外監査役



社外監査役  
西本 強

弁護士/  
株式会社エニグモ  
社外監査役/  
株式会社プロードリーフ  
社外監査役



詳しくは当社ウェブサイトより

定時株主総会に関するご報告

2021年6月25日開催の当社第158期定時株主総会の決議の結果につきましては、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載しております「第158期定時株主総会決議ご通知」をご高覧ください。

<https://www.shimadzu.co.jp/ir/library/shareholders.html>



■株式の状況

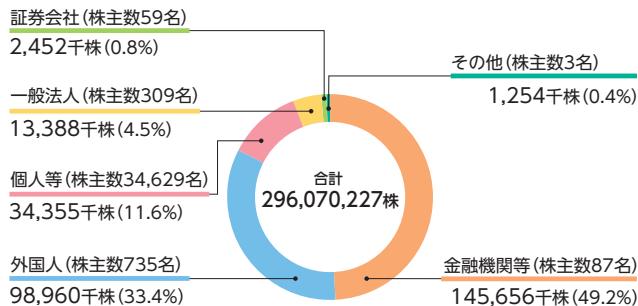
発行可能株式総数…………… 800,000,000株  
 発行済株式の総数…………… 296,070,227株  
 株主数…………… 35,822名

■大株主 (上位10名)

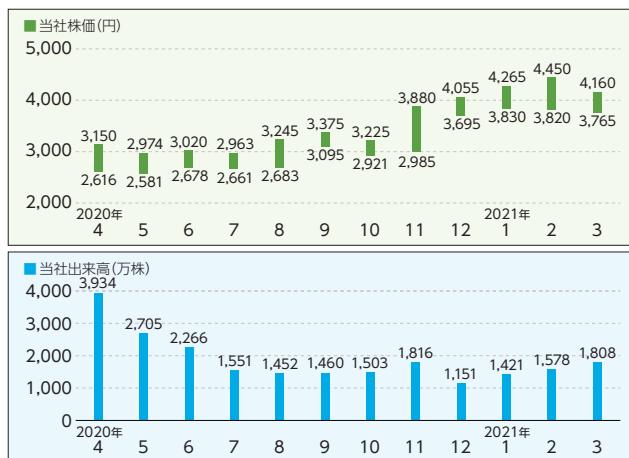
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	27,116	9.20
明治安田生命保険相互会社	20,742	7.04
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	13,415	4.55
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	11,436	3.88
株式会社三菱UFJ銀行	7,672	2.60
太陽生命保険株式会社	7,411	2.51
東京海上日動火災保険株式会社	6,287	2.13
株式会社京都銀行	4,922	1.67
株式会社日本カストディ銀行(信託口7)	4,847	1.64
全国共済農業協同組合連合会	4,384	1.49

※持株比率は、自己株式(1,251,708株)を控除して計算しております。

■所有者別株式分布状況



■株価の推移 (東京証券取引所)



■会社概要

商号 株式会社島津製作所  
 Shimadzu Corporation  
 創業 明治8年(1875年)3月  
 設立 大正6年(1917年)9月  
 本社所在地 〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1番地  
 電話075-823-1111(代表)  
 資本金 26,648,899,574円  
 従業員数 (単体) 3,492名 (連結) 13,308名  
 連結子会社数 (国内) 23社 (海外) 53社

■主要な事業所

本社 京都市中京区西ノ京桑原町1番地  
 支社 東京/関西(大阪市)  
 支店 札幌/東北(仙台市)/つくば/  
 北関東(さいたま市)/横浜/静岡/  
 名古屋/京都/神戸/広島/  
 四国(高松市)/九州(福岡市)  
 工場 三条/紫野(いずれも京都市)/  
 厚木(厚木市)/秦野(秦野市)/  
 瀬田(大津市)  
 研究所 基盤技術研究所(京都府相楽郡精華町/  
 京都市)  
 田中耕一記念質量分析研究所(京都市)

■ウェブサイト、統合報告書のご案内

■ウェブサイト

<https://www.shimadzu.co.jp/>



■統合報告書

<https://www.shimadzu.co.jp/ir/library/annual.html>



環境大臣より「エコ・ファースト企業」に精密機器業界で初めて認定



認定式(2020年10月21日)  
 左から小泉進次郎・環境大臣、上田輝久・当社社長  
 当社は、環境省が創設した「エコ・ファースト制度」において、環境分野で先進的、独自のかつ業界をリードする事業活動を行っている企業として認められ、「エコ・ファースト企業」に認定されました。

「JPX日経インデックス400」の構成銘柄に選定



日本取引所グループ(JPX)と東京証券取引所、日本経済新聞社が、グローバルな投資基準に求められる諸条件を満たした企業を選定する目的で2014年から公表を開始した「JPX日経インデックス400」の構成銘柄に5年連続で選定されています。

「健康経営銘柄」に初めて選定  
 「健康経営優良法人(ホワイト500)」に認定



経済産業省と東京証券取引所が、社員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に「健康経営」を進めている企業を選定する「健康経営銘柄2021」に初めて選定されました。また、経済産業省が日本健康会議と共同で、優良な健康経営の施策を実施している大規模法人を認定する制度「健康経営優良法人2021(ホワイト500)」に、制度開始から5年連続で認定されています。

「なでしこ銘柄」に選定



経済産業省と東京証券取引所が、全上場企業約3,600社の中から、業種ごとに女性が働き続けるための環境整備を含め、女性活躍を積極的に推進する企業を選定する「なでしこ銘柄」に5年連続で選定されています。

「新・ダイバーシティ経営企業100選」に選定



経済産業省が多様な人材の能力を最大限引き出し、中長期的に企業価値向上を実現している企業を選定する「新・ダイバーシティ経営企業100選」に2019年から選定されています。

# 島津製作所 創業記念 資料館

## 株主様 無料入館券

本券1枚につき  
4名様まで  
無料で入館  
頂けます。

2022年6月末  
まで有効

キリトリ

# 島津製作所 創業記念資料館のご案内

当館は、創業100年を迎えたことを記念し、1975年に創業者である初代と二代目島津源蔵の遺徳を偲び開設されました。創業以来製造してきた理化学器械、産業機器やX線装置ならびに事業活動に関連する文献・資料などを展示しており、島津製作所の歩みとともに、日本の近代科学技術の発展過程をご覧頂けます。

- 休館日/水曜日(祝日の場合は開館)、年末年始
- 入館時間/9:30~16:30(閉館17:00)
- 入館料/大人300円 中高生200円 小学生以下 無料 団体割引(20名以上20%引)

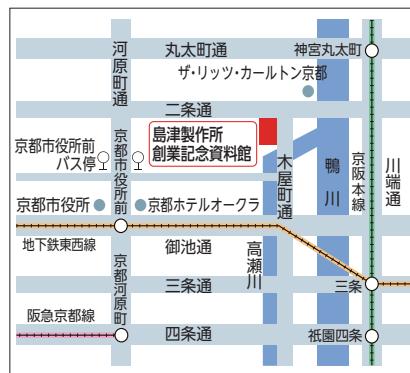
※当館には、駐車場がございません。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により臨時休館する場合がございますので、ウェブサイト等でご確認ください。



## 島津製作所 創業記念資料館 (登録有形文化財)

- 市バス「京都市役所前」下車徒歩3分
- 京阪本線「三条駅」下車徒歩7分
- 地下鉄東西線「京都市役所前駅」下車2番出口徒歩3分  
(地下鉄丸線「京都駅」より「丸御池駅」乗換、地下鉄東西線「京都市役所前駅」下車)
- JR「京都駅」よりタクシーで20分



〒604-0921

京都市中京区木屋町二条南

●TEL/075-255-0980

●FAX/075-255-0985

●<https://www.shimadzu.co.jp/visionary/memorial-hall/>



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
株主確定基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 (その他必要ある場合は、公告のうえ設定します。)
公告方法	電子公告とし、当社ウェブサイトに掲載します。 <a href="https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/ir/kk.html">https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/ir/kk.html</a> ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、京都新聞および日本経済新聞に掲載します。
単元株式数	100株
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話(通話料無料) <b>0120-094-777</b> 受付時間 9時~17時(土・日・祝日等を除く)
証券コード	7701
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

## 「配当金領収証」により配当金をお受け取りになられている株主の皆様へ

配当金は口座振込でも受け取ることができます。

配当金のお受け取りを、ご指定の銀行、または証券会社等の口座への振り込みにされますと、支払開始日に確実に入金されます。

### 口座振込を希望される場合

- ①口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお申し出ください。
- ②証券会社に口座がない株主様は、左記三菱UFJ信託銀行株式会社 電話(通話料無料) **0120-094-777** にお申し出ください。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。環境への配慮のため、責任ある森林からの原料を含む「FSC®認証紙」を使用し、植物油を用いた印刷をしています。

# 株式会社 島津製作所

<https://www.shimadzu.co.jp>